

裏丹沢 神ノ川・矢駄沢

福永

【日時】2012年8月12日（日）

【メンバー】L五十嵐、中村、福永

お盆。当初の計画では、アブ&ヒルのキス&ハグを夢見て（佐貫さんにお伺いして対策はバッチリだった）、下田川内に興味津々、怖いもの知らずの私達は、光来出沢に入る予定だった。とにかく五十嵐さんの想いは強かった。それなのに、無情にも天気予報に翻弄され計画頓挫。中止にしたものの、首都圏は嫌味なほど晴天続きだったので丹沢に行ってきた。

矢駄沢は短いが、登れないと言われている2つの滝を除くと全て登ることが出来て楽しい。堰堤を5つ越して沢に降り立つとすぐに釜を持つ小滝がどんどん現れて、皆、水線をまっすぐに行くことにこだわった。敢えて水に濡れるのが気持ちいい。

突然現れる大堰堤に、少し興ざめしながらも梯子を越え進むとF1、F2と10mくらいのツルツルの滝に到着。この登れない滝は、簡単に右岸を巻き、更にいくと、トイ状の可愛い滝と戯れる。

先に行く若者3人組に追いつき、右手に水の無い堰堤群が現れた。これが大笄沢の悲惨な姿。進む本流は左俣。こちらにも堰堤があり林道の橋も見えてきた。だれがここに道を必要としているのだろうか。旧道の橋をくぐると小滝が続



き、沢登りの雰囲気をやや取り戻す。倒木で荒れた15m滝は真ん中のリッジにホールド、スタンスとも多いが、高度感があるため最後はお助けを貰った。

源頭部は、泥の急斜面で落石させないように気を付けながら這い上がると矢駄尾根の登山道にでた。一時間強で車止めゲートに下る。暑い夏の日がポッカリ空いたら、また裏丹沢へ行きたいと思う。圏央道のお陰で朝発でも十分に楽しめる。ちなみに前の週に入っていた方の記録では『ヒルが一匹ザックについていた』とあったが、私達は彼にお会いすることができなかった。

【地形図】大室山、中川

【行程】矢駄橋（9：10）～大笄沢出合（11：20）～登山道（12：55）～
車止めゲート（14：30）

【グレード】1級上

